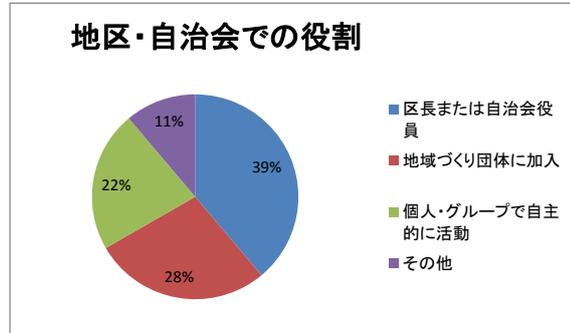
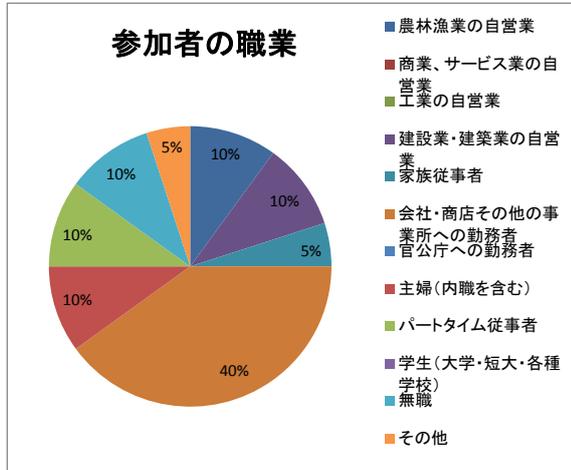
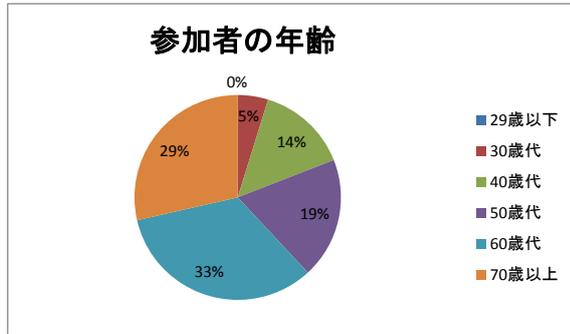
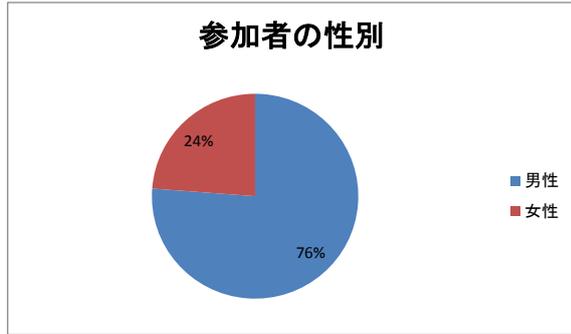


和泉地区ワークショップでのアンケート集計結果



自由意見

中部縦貫道が出来、便利になる反面、和泉のような小規模の集落では逆に活力が無くなってしまおうのではと心配です。そういった小規模の集落の事の今後については考慮されるのでしょうか？
今回のワークショップとは別に、地区ごとの意見や問題点を聞き、出し合う場を作ってほしいです。それに対して市としての意見や、そういったバックアップ、補助ができるか等を知りたい。

新緑の国道158号、又紅葉のダム湖周辺と158号、中部縦貫道によって見てもらえないのは残念です。

防災での質問ですが、私の家の裏が大風の時、大雨が降るとすぐ避難指示がでるのですが、どうにかありませんかと聞いたところ、崩れたら対応しますと言われましたが、それでいいのですか。私も市役所にいましたので、我慢しましたが、どう思いますか？

若い方が働きたいと思える職、環境を整えることができるか？地元に残る人、又は戻って来られる方が増えるような魅力の創出。
アンケート形式でシールの部分を事前に片づけておけば良いと思った、(時間の有効利用)

青よりも赤・黄を付けた数が多かったですが、日常の実際の生活は青が多いと感じています。
今日のワークショップを全体にどう取り組んでいいのか、最後までつかめなかったため、その差だと思いました。

中部縦貫道の和泉IC⇄大野東ICの早期開通と国道158号の万全な交通網整備充実による、和泉地区に住み続ける定住環境整備。
学校再編計画は、和泉地区は市街地から片道30km以上かかることから、学校は地域コミュニティの位置による学校を残すことを望む。
赤ちゃんから高齢者の方一人一人が市民が主役の中山間地域作りの政策の実現を求める。

- ・小学校から中学校を一体化し、各地区の特色を出せるような学校を作る。和泉なら冬季(スキー)と化石の学校。特色ある学校づくりをするなら、各学校は残していく方向で。
- ・和泉地区に在住していない消防団員をそろえるより、在住しているOBを加えてよいのではないかと。(活動可能な人で)
- ・森林整備の名のもとに、バイオマス発電の材料を算出しているだけなのでは？路網設置のやり方がひどすぎる。
- ・地区の意見の大きな方向が出て良かったのではなかったか。ワイワイ楽しく話できたとは思わないが、この結果がどう反映されるのでしょうか？
- ・結の心をやどす子を育てるなら、学校をなくさないでほしいと思う。地域と共に育てることが必要です。

- ・将来まで住みたいと考えさせる施策がない。
- ・市に対して意見を出しても、全体での議論にならない。(上に上がらない。)
- ・市職員の中に横暴な職員が多すぎる。上から目線。

- 29 企業誘致のすすみぐあい？
- 28 定住促進に必要な住みやすさ(学校、病院、買い物、仕事等)に不安がある。
- 21 融雪の水が道路を川にしている箇所が多い
- 13 これだけ消費者の安全がさげられているなか、犯罪が減らないのはなぜでしょう
- 10 ボランティアの育成はどんなことをしているのですか？
- 6.7.8の満足度を上げることが必要
- 30.32.33については、和泉地区では見えてこない
- 36.37 市政に魅力がないのは確か。庁舎は立派ですが、職員と市民の情報の共有はできてないと思う

- ・地域が考えている事が明確に分る様に思われる事が多く感じられています。
- ・地域と市とが互いが理解し合う事が大事。
- ・市から求めるに対応しきれない。
- ・地域コミュニティの結集を生かす事が大事。

当初だから発言しにくい。絵に書いたボタモチにならないことを祈ります。

幅が広すぎて、地区民の意見が出にくい会であったと思う。わかった事は不満というストレスが多い地区民の割合が大多数を占めるという事。
市の財政が厳しい中、ターゲットをしぼれる様な話合の場が必要。

ブランド戦略、高齢化が進むに従って、特産品作りの後継者の確保の重要性について不安がある。
協力隊メンバーの育成に力を入れてほしい。任期終了後のサポートと地域に残ってもらう支援が大切。
公民館活動の内容の充実で地域は活かされるゆえ、今一番、重点的に後押し、バックアップに力を入れてほしい。

中山間地の役割は、多面的機能をはじめ豊かな環境で済みやすい山村集落の形成になると感じている。特に和泉地区は集落を維持する限界に達しつつあり、よって基本施策の中の中山間地のあるべき姿を明記すべきと思う。「中山間地の活性化」とか。抜本的な支援を。

21 地域ぐるみ雪下ろし事業について、現在は1回当たりの雪下ろし助成金は7千円であるが、現実には1回当たり数万円の費用がかかっているのが実情である。年金生活の高齢者にとっては、大変な負担となっている。今後、高齢化が進行する中で、市の負担も大きくなってくると思われるが、助成の金額や雪下ろし体制も強化する必要がある。

大野市の人口3万1千人の内、和泉地区人口500人、30年度目標が達成していたとの司会ではありましたが、和泉地区ではどうなのでしょう？
高齢による離農、放棄地のため緑が失われていく。基本目標である自然が元氣、和泉地区ではどう市は考えているのか？

参加者全員の意思確認が出来て良いと思う。
一つ一つの課題に対応を細かく考え共有できる。

まちづくり会社、市街地活性化協議会など、まちなかを活性化しようとする組織は出来るが、具体的な施策が見えてこない。空家の活用はもちろんだが、和泉には空家はないし、自動車道が出来て岐阜・名古屋が通勤範囲になってきていることを踏まえて、住宅を建設し、人(若者)を誘致してほしい。人口増を考えてほしい。